



燕市「読解力」育成プロジェクト通信

子どもたちのリーディングスキルを分析

読解力育成の視点で授業をブラッシュアップ!

夏休み明けに燕市立小学校6年生と中学校1年生、2年生、3年生を対象に実施したリーディングスキルテスト（RST）について分析研修会（研究主任会）を10月7日（木）に実施しました（リモート研修会）。児童生徒のRSTの結果について「教育のための科学研究所」に集計をしていただき、分析結果について主席研究員の菅原真悟氏より説明と指導方法について講義していただきました。

復習 「RSTの各問題のねらい…6分野(7項目)の視点」

①	係り受け解析 DEP : Dependency Analysis ・構文を正しく解析し、「誰が」「何を」「どうした」がわかる。	文構造を正確に把握できるかを問う問題	ここが解けるようにならないと、教科書等を読むことが困難
②	照応解決 ANA : Anaphora resolution ・「それ」「これ」など指示詞が指し示すものがわかる。 ・省略されている主語、目的語がわかる。		
③	同義文判定 PARA : Paraphrasing ・2つの文を比較し、それらが同じ意味を表しているかどうかわかる。		
④	推論 INF : Logical Inference ・提示された文から推論することで、新しい知識を獲得できる。 ・論理と小学校卒業までに日常生活や学校で身に付けると期待される常識を用いて、与えられた文から推論する。		
⑤	イメージ同定 REP : Representation ・文がどのようなことを示しているのか、具体的にイメージできる		
⑥	具体例同定 INST : Instantiation ・概念または用語の定義を読み、それがどのような状況に当てはまるかを具体的に認識できる（INSTd 辞書的定義・INSTm 数理的定義）		

燕市の子どもたちの読解力～RST結果分析・学年別平均

(R3.8月～9月に実施)

能力値0が中学生の平均

	DEP	ANA	PARA	INF	REP	INSTd	INSTm
小学6年	-0.30	-0.43	-0.44	-0.39	-0.27	-0.27	-0.30
中学1年	-0.10	-0.29	-0.31	-0.19	-0.19	-0.06	-0.14
中学2年	0.15	-0.01	-0.08	0.00	0.10	0.12	0.00
中学3年	0.34	0.14	0.04	0.09	0.25	0.23	0.13
	係り受け解析	照応解決	同義文判定		イメージ同定	具体例同定(辞書的)	

係り受け解析、イメージ同定、同義文判定（辞書的）が平均よりも高い傾向

照応解決、同義文判定の力が平均より低く、十分に育っていないと考えられる。